

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記3

国立市立国立第七小学校

平成27年11月20日 NO.68 (268)

モンタ博士「せっかくカブトムシの幼虫^{ようちゅう}をつかま

えたんだから、みんなで幼虫^{ようちゅう}をよく

観察^{かんさつ}することにしよう。右の写真は

顔^{かお}をアップでとったものだよ。」

花ちゃん「とっても大きな幼虫^{おお ようちゅう}で、迫力^{はくりよく}がありますね。」

オー君「これは3令幼虫^{れいようちゅう}だ。卵^{たまご}からかえった時^{とき}はもっと小さ^{ちい}かったでしょうね。」



モンタ博士「そうだね。メスが卵^{たまご}をうんでから2週間^{しゅうかん}くらいで幼虫^{ようちゅう}が出てくるんだ。

これを1令幼虫^{れいようちゅう}というのさ。大きさは8ミリくらいなんだ。」

オー君「1令幼虫^{れいようちゅう}が脱皮^{だっぴ}して2令幼虫^{れいようちゅう}になり、だんだん大きくなっていくんだ。」

花ちゃん「脱皮^{だっぴ}って、何^{なん}ですか。オー君！わかりやすく教えてよ。」

オー君「そうだね。人間^{にんげん}の子供^{こども}が成長^{せいちょう}するにつれて、洋服^{ようふく}がきつくなっていくように、昆虫^{こんちゅう}の皮^{かわ}も大きくなるにつれてきつくなってくるんだ。そこで、昆虫^{こんちゅう}は、古い皮^{ふるかわ}を脱ぎ捨ててあたら^{あたら}新しい皮^{かわ}になるのさ。これが脱皮^{だっぴ}だね。」



花ちゃん「ふーん。そういうことなの。よくわかりました。」

オー君「ところで、モンタ博士！カブトムシはどのくらいごはんじゃなかった、腐葉土^{ふようど}を食べて大きくなるのですか。」

モンタ博士「ある研究調査^{けんきゅうちょうさ}によると、カブトムシが成虫^{せいちゅう}になるまでには、腐葉土^{ふようど}を大きなおちゃわん5杯^{はい}くらいも食べるそうなんだ。」

花ちゃん「へえー。カブトムシって、けっこういいしん坊^{ぼう}なんですね。」

モンタ博士「そうだね。食べる^たことが仕事^{しごと}なんだよ。ところで、幼虫^{ようちゅう}の体^{からだ}をよく見ると、

からだ こま け
体に細かい毛がいっぱいあるだろう。これはどうしてだろうね。」

オー君 「毛があればあったかいからかな？いや、ちがうなあ。」

花ちゃん 「毛があれば、きたないものなどがつかなくて、からだ がよごれないからかも？」

モンタ博士 「ピンポン！そのとおり。では、つぎ ようちゅう め さが
次に幼虫の目を探してごらん。」

花ちゃん 「うーん。どこにあるのかな。ちい め み
小さい目だから見つけれられないのかな。」

オー君 「ちがうよ。くら ふうようど つち なか すこ
暗い腐葉土の土の中で過すから、目は必要ないんだ。」

花ちゃん 「そうね！エサに囲まれているから、エサを探す必要もないということね。」

オー君 「いいな、いいな。ごちそうに囲まれて生活するなんてさいこう
最高だよね。まいにち た
毎日食べ
ほうだい
放題でカブトムシの幼虫は しあわ
幸せですね。」

モンタ博士 「そうでもないみたいだよ。てき
敵もいるんだ。いちばんおそ
一番恐ろしいのはモグラなんだ。

それから、しめ け おお つち なか
湿り気の多い土の中なので、ダニにとりつかれたり、びょうき
病気もある

だろうね。ほか きせい たまご
他に寄生バチに卵をうみつけれたり、アリにおそわれたり、

キノコやカビなどにとりつかれることもあるのさ。まあ、いろいろとくろう
苦労し

てせいちゅう
成虫になるんだね。それじゃつぎ くち み
次に、口をよく見るとどうなっているかな。」

オー君 「大きなあごがありますね。」

花ちゃん 「この大きなあごで、ふうようど
腐葉土をかみくだくのですね。じょうぶ
丈夫なあごなんですね。」

モンタ博士 「そのようだね。さらに、あし み
足を見てごらん。どんな感じかな。」

オー君 「どんなあし うご
足の動きをするか、外に出して調べてみようよ。」

モンタ博士 「なるほど、それはとてもいい実験だね。やってみよう！」

花ちゃん 「あれ？あんまりあし つか ある
足を使って歩いていませんね。どうやってうご
動いているの。」

オー君 「カブトムシのようちゅう からだ
幼虫は、体をもそもそ動かして、からだ
体ののびぢぢみでいどう
移動して
いるんですね。」

モンタ博士 「よーくかんさつ
観察すると、いろいろなことが分かって楽しいね。このようちゅう あと
幼虫はこの後、
どうなるんだろうね。」

オー君 「さむ ふう
寒い冬は、食べ物であまり食べなくなるんだ。」

モンタ博士 「そうだね。そして、あたたかなはる
春がくるまでちょっとお休みするのさ。

カブトムシがせいちゅう どうじょう
成虫となって登場するまでみんなで楽しみに待っていよう。」